

## 2011～2012年度 事業計画並びに予算案

### 会員組織委員会

委員長 野口 清一(兼)

#### ◎活動目標

極力退会者を減らす努力をし、中期ビジョンの会員60名をめざして活動できる、組織づくりをする。

#### ◎事業計画

1. 会員増強目標は、中期ビジョンを鑑み純増10%を推進する。
2. 会員増強、退会防止を図る為、活動のできる会員増強プロジェクトチームを設置する。
3. クラブの活性化に向け、各委員会・部会と協力の輪を広げるとともに、研修リーダー部会と協力し、適切な研修を推進し、組織の強化に努める。

### 会員選考・増強部会

部会長	松浦充恭
副部長	神田耕作
部員	加藤忠二
部員	木村法蔵
部員	古本幸三

#### ◎活動目標

会員組織委員長の指導の下、関係委員会・部会と密接な連携により、会員維持に努めるとともに適正な会員選考及び新会員の純増に努める。

#### ◎事業計画

1. 「会員増強および拡大月間」に適切なプログラムを実施する。(8月)
2. 職業分類調査を実施し、職業分類表及び会員一覧表の見直しを行う。(6月)
3. 会員候補者の紹介名簿の提出を全会員に依頼する。(8月・2月)
4. 会員増強目標純増10%を推進する。(通年)

## 広 報 委 員 会

委員長 三 宅 洋 子  
副委員長 結 城 政 憲  
委 員 上 藤 淳 一 (兼)

### ◎活 動 目 標

クラブの奉仕活動を広報にて地域社会に発信し公共的イメージアップを図る。

### ◎事 業 計 画

1. ホームページの活用。(随時)
2. IT化の促進を図る為、メールでの連絡網を、全会員に登録していただける様、目標とする。(随時)
3. 公共イメージと認知度の向上の為、メディアの活用を行う。(随時)
4. 「ロータリーの友」を有効活用し、会員が興味を持って楽しめる様目指す。(随時)
5. 自クラブの奉仕活動(記事)等を広報委員会より「ロータリーの友」へ投稿する。  
(随時)

## ク ラ ブ 管 理 運 営 委 員 会

委員長 久 間 利 彦

### ◎活 動 目 標

クラブの効果的管理運営に関する活動を実施する為、会長の年度目標及びクラブの長期目標をふまえ、各部長が立案した目標や事業計画が確実に遂行されるよう協力する。

### ◎事 業 計 画

1. 2011～2012年度の事業開始前にクラブ管理運営委員会のすべての部長と一同に集まり、一年間の活動に対し意見交換を行う。(6月)
2. クラブ3役出席のもと、各部会ごとの経過報告会を開催し事業計画に対して実施状況を確認する。(12月～1月)
3. 各部会の活動状況や事業の進捗状況を把握して、必要に応じて調整を図っていく。  
(随時)

## 出席部会

部会長 岩岡三十次  
副部長 平本禎輝(兼)  
部員 海生俊史(兼)

### ◎活動目標

会員1人1人が、出席する重要性を確認し、例会の充実を計る。

### ◎事業計画

1. 例会時に出席率を発表し、メイクアップの依頼をする。(通年)
2. 国際大会、地区大会、I.M、奉仕プロジェクト活動等に出席する様、依頼する。  
(随時)
3. 前年度100%並びに連続100%出席率を表彰する。(7月)
4. 定期的に出席率を上げる様、各個人個人(欠席者)にお知らせする。
5. 会員が出席しやすい様な環境を新たに考慮する。

## 雑誌・会報部会

部会長 石崎俊史  
副部長 亀本興紀

### ◎活動目標

ロータリー活動の情報を活字で伝達し、会員意識の高揚を図る。  
週報の編集・発行を継続し、情報共有に努める。

### ◎事業計画

#### 《雑誌》

1. 「ロータリーの友」をロータリー関連団体へ寄贈し、読んで頂く。

#### 《会報》

1. 各委員会・部会の事業報告を原稿依頼し、週報に掲載する。
2. 会員個々の記事を週報に掲載する。
3. その他、有益なロータリー情報を掲載する。

## 親睦(R 家族)活動部会

部会長	小松 繁夫		
副部会長	舩本 知己	花房 薫(兼)	
部員	大須賀 益治(兼)	山下 幹雄(兼)	
	海生 俊史(兼)	奥原 國雄(兼)	
	梶 洋一郎	四方 キヨコ	
	上藤 淳一(兼)	石崎 俊史(兼)	
	高松 良子	沖松 勉	
	津立 宣正		

### ◎活動目標

「親睦から奉仕へ」と積極的に活動し各種行事を通じてより効果的に会員各位と「一緒に仕事をする」事を図る。

### ◎事業計画

1. 納涼例会 (8月2日)
2. 江田島 RC・呉南 RC 合同観月例会 (9月29日(木) 会場：シーサイド温泉のうみ)
3. 忘年家族例会 (12月20日)
4. 花見例会 (4月3日)
5. 最終例会 (6月19日)
6. その他
  - ・地区大会参加
  - ・ロータリー創立 107 周年記念 4RC 合同例会 (2月16日 ホスト呉 RC)
  - ・IM 参加 (2月26日 ホスト呉 RC)
  - ・新旧アッセンブリー並びに県外親睦旅行 (4月)
  - ・県外行事への参加協力 (随時)
  - ・地元地域、奉仕プロジェクト活動への参加協力 (随時)
  - ・他クラブ合同行事への参加協力 (随時)

## ロータリー情報部会

部会長	狩尾 元重
副部会長	幟立 千明

### ◎活動目標

会員及び新会員予定者にロータリーに関する情報及び知識を提供し、ロータリアンとして常に資質向上を図り、自覚を持続して頂く。

### ◎事業計画

1. 例会時、ロータリー情報の時間を通じ情報の伝達に努める。(随時)
2. 新会員に、ビジョン委員会、研修リーダー部会と提携し「情報集会」を開き、新会員の研修、オリエンテーションを行う。(随時)
3. 「ロータリー理解推進月間」には適切なプログラムを実施する。(1月)
4. 2013年からの R 財団「未来の夢計画」について、資料提供をする。(随時)

## 研修リーダー部会

部会長 奥先憲太郎  
部員 RLI受講終了会員

### ◎活動目標

クラブにおいて必要とされるニーズがすべて満たされるような研修を実施するため、クラブ理事会、クラブ各委員会と協力することはもちろん、支援とアイデアを得るために地区研修委員会、ガバナー補佐、ガバナーとも常に連携をとって活動する。

### ◎事業計画

1. RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)受講終了会員をDL(デスクッションリーダー)として当クラブに必要と思われるテーマでRLI方式による研修を例会において実施する。(11月29日・5月8日)
2. RLI方式による研修方法等についてクラブ三役、DL、関係委員会との打合せ等の委員会を開催する。(10月・4月)

## プログラム部会

部会長 宇都宮 昭 憲  
副部会長 児 玉 和 司

### ◎活動目標

年間を通じて、適切かつ充実した内容のプログラムを計画する。また、クラブ三役とも相談しながら、常にクラブや会員の活性化に繋がるよう配慮しながらプログラムを実施する。

### ◎事業計画

1. ロータリー各月間に応じた適切なプログラムを実施する。(各月間)
2. 地区大会の報告、ガバナー公式訪問等の報告プログラムを実施する。(10月・11月)
3. プログラムの中にRLI (Rotary Leadership Institute) を取り入れて実施する。  
(11月・5月)
4. 外部講師を招聘し、タイムリーな卓話・講演を計画する。
5. 会員卓話を計画し、会員間の相互理解を深める。
6. 年間数回の夜間例会を通じて会員間の親睦を一層深める。(年5回)
7. クラブフォーラムを開催し、ロータリーに対する意識付けの高揚をはかる。  
(年3回)

## 会場監督 (SAA) 委員会

---

委員長	土岡正和
副委員長	幟立千明 (兼)
委員	奥原國雄

### ◎活動目標

例会場の気品と風紀を守り、例会がその使命を発揮できるように設営し、秩序正しく楽しい例会が運営されるようにマネジメントする。また、奉仕活動の原資であるニコニコ基金への理解を頂き、有効な奉仕活動が円滑にできる様に基金を募る。

### ◎事業計画

1. 会長、幹事、各委員長・部会長と連絡を密にし、円滑な運営と設営を行う。
2. 例会場の席は色々な分類で指定席を作り、全会員の交流が図れる様にする。
3. ニコニコBOXを設置して奉仕活動を行う為の基金を募る。
4. クラブへの来訪者、来賓の方に配慮した会場設営を行う。
5. 月2回、職業奉仕部会と協力し「禁煙例会」を実施する (第1・第3例会)
6. 例会行事中の私語、特に外部講師の時の私語を注意し、気品ある例会運営に努める。
7. ロータリーバッジを忘れた場合には、罰金を実施する。
8. 各月の「ロータリー月間・週間」を周知する為に、例会場に掲示する。
9. プログラム部会と協力し1ヶ月間の「例会プログラム予定」、「行事予定」を例会場に掲示する。

## ビジョン委員会

---

委員長	海生俊史
副委員長	大須賀益治
副委員長	山下幹雄
副委員長	平本禎輝
委員	歴代会長

### ◎活動目標

クラブ3役やクラブ会員の相談を受ける委員会を心がけ、より良いビジョンを考える。

### ◎事業計画

1. 年度の上半期、下半期1回位。会長の要請により委員会を開催する。  
又は委員会・部会の方の提案があれば開催する。

◎活 動 目 標

クラブ資金の管理と予算の策定を行い、財務情報を正確に記録し定期的に理事会へ報告する。

◎事 業 計 画

1. 各委員会・部会の経費が予算内で賄われるよう各委員会・部会とともに調整する。
2. 財務情報の正確な処理・記録を行うとともに、予算の執行状況の定期的なチェックを行い、理事会への報告を行う。
3. 非会員の税理士報酬を見込む。

奉仕プロジェクト委員会

委員 長 高 木 俊 雄

◎活 動 目 標

各奉仕部会（職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕・インターアクト）の相互間の情報交換と協力体制を密にし、各奉仕事業をクラブ会員に理解、協力していただき、積極的に奉仕活動に参加してもらえるよう努める。

◎事 業 計 画

1. 各奉仕部会の事業計画が円滑に実施出来る様にサポート協力する。（随時）
2. 毎月第1例会に「四つのテスト」の唱和を実施する。

## 職 業 奉 仕 部 会

---

部 会 長 深 田 尚 位  
副 部 会 長 坪 川 禮 巳

### ◎活 動 目 標

ロータリークラブが社会を職業の集積と捉えており、職業奉仕活動こそがロータリークラブの金看板であり、その特色であるとしている。従ってクラブの責務は、職業奉仕活動を実践すること、クラブの行動に職業奉仕を活かすこと、会員の職業手腕を発揮できるプロジェクトを開発することを目標とする。

### ◎事 業 計 画

1. 「職業奉仕月間」に、地域の優良企業にて「職場例会」を実施し、職業奉仕の理解を深める。(10月25日)
2. 会員の健康診断を実施する。(11月～12月)
3. 地域の模範となる「優良職業人」を表彰する。(3月)
4. 例会にて、職業奉仕に関するテーマを設定して議論を深める。
5. 職業人たる会員の経験・ノウハウを活かして、地域社会・国際社会の啓蒙・発展に資するべく、議論を進めながら、種々提言する。(通年)

## 社 会 奉 仕 部 会

---

部 会 長 花 房 薫  
副 部 会 長 原 豊  
部 員 山 上 亀 一 郎

### ◎活 動 目 標

ロータリアンとしての自覚を持って「超我の奉仕」を実証し、ロータリークラブの社会的責務を果たすため、クラブ会員全員が進んで参加、行動できるプロジェクトを推進する。

### ◎事 業 計 画

1. 地域・企業及び団体等協力を仰いで、「堺川清掃奉仕活動」を実施する。(9月24日)
2. 専門家に卓話をお願いして、認知症の方やその家族への支援について学ぶ。(3月)
3. インターアクトクラブの奉仕活動に協力、支援する。(随時)
4. RCC (ロータリー地域社会共同体) の支援について学ぶ。

## 国際奉仕部会

部会長 久保 則昭  
副部会長 梶 洋一郎 (兼)  
部 員 住 原 勝 正 (兼)

### ◎活動目標

国際間の理解と親善を推進し、世界平和を達成する為に活動を実施する。

### ◎事業計画

1. 国際奉仕プロジェクトのマッチンググラントを達成する為に、研究・準備を行なう。(通年)
2. 海外における、災害の罹災者への救援活動に対して、資金援助を行なう。(通年)
3. 「世界理解月間」に担当例会を行なう。(2月)
4. 国際ロータリー第3660地区友好クラブ漢拏ロータリークラブとの友好を深める。  
(12月)

## 新世代奉仕部会

部会長 真 鍋 公 昭  
副部会長 住 原 勝 正

### ◎活動目標

新世代の多様なニーズを認識しつつ、より良き未来を確実なものとするため新世代の生活力を高めることによって将来への準備をさせる事を目的とし新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手する。

### ◎事業計画

1. 児童養護施設「仁風園」への支援。
2. 呉の子どもミュージカルグループ“ワンハート”の公演「GREEN」に対する協力、支援。(10月23日(日)呉市文化ホール)
3. 健康
  - ・ポリオ・プラスへの支援
  - ・障害者支援
4. 教育
  - ・米山記念奨学生、ロータリー財団奨学生、青少年交換学生への支援
  - ・識字率の向上「識字率向上月間」(3月)
  - ・環境保全
5. 「RYLA」への参加の支援(11月19日(土)～20日(日)岩国市)
6. インターアクト活動への協力。(随時)

## インターアクト部会

部会長 和田 功  
副部会長 三宅 洋子(兼)  
部員 平本 禎輝(兼)

### ◎活動目標

インターアクトクラブ例会や様々な奉仕活動を通じて建設的な指導力を養成し、自己の完成を図り、他人へ対する思いやりと他人の力になる心構えの奨励と実践をし、家庭と家族の重要性を認識し、倫理観、道徳観を育成し、各自の責任を果たせるよう努力し、国際理解と親善を推進し、指導・協力をする。

### ◎事業計画

1. 毎月1回の清水ヶ丘インターアクトクラブ例会開催とロータリアンの出席。  
(毎月第3火曜 15:50～)
2. 地区顧問教師懇親会への参加。(6月)
3. 「第35回インターアクト地区大会」に参加。(7月30日(土)～31日(日)宇部市)
4. 「交通遺児救済街頭募金」運動に参加。(12月)
5. 特別養護老人ホーム「後楽荘」慰問。(1月)
6. 地区海外研修旅行への参加。(3月)
7. 卒業生を送る会。(3月)
8. 新入生歓迎会。(4月)
9. 「次年度指導者研修会」への参加。(5月)
10. 呉南 RC 奉仕プロジェクト委員会主催行事への積極参加。(通年)
11. (校内活動) 清掃奉仕、学園祭参加。(通年)
12. ボランティア証明書の発行。(通年)

## ロータリー財団委員会

委員長 三戸 初人

### ◎活動目標

ロータリーの使命を遂行しようとする、ロータリー財団の目的と意義について会員の理解と協力を得て、ロータリー財団の活動を支援する。

### ◎事業計画

1. 地区目標の年次寄付の達成努力を行なう。(通年)
2. 「ロータリー財団月間」に於いて、地区補助金申請を含め、ロータリー財団の目的、役割、意義を、会員に理解を深めてもらうプログラムを実施する。(11月)
3. ポリオ・プラス部会のプログラムへの協力支援を行なう。(通年)
4. 2013年からのR財団「未来の夢計画」について理解を深める。
5. ロータリーカードの加入促進。(随時)

## ポリオ・プラス部会

部会長 原 豊  
副部長 石丸 学

### ◎活動目標

ロータリー財団委員会の下で、ポリオ等の撲滅活動に理解を得て積極的に支援を求める。

### ◎事業計画

1. 例会時にポリオボックスを設置し、募金をお願いする。(随時)
2. ゴルフ同好会の清盛会には、「ポリオチャリティーゴルフ」を開催して頂く。
3. 最新のポリオ・プラスの情報を提供して周知して頂く。

## 米山記念奨学会委員会

委員長 西村 英昭  
副委員長 藤本 哲智

### ◎活動目標

米山記念奨学会は、外国人留学生に対して奨学金を支給し、国際理解と親善に寄与する事を目的とする。クラブ会員の理解・協力を深め、寄付目標の達成の為努力する。

### ◎事業計画

1. 普通寄付を例年通り実施する。(7月・1月)
2. 特別寄付を奨励する。(通年)
3. 「米山月間」には理解と認識を深める為のプログラムを実施する。(10月)
4. 「米山月間」には会員に特別寄付を依頼し、協力をお願いする。(10月)